

「第2回ジャパン・ハッカソン」に46か国から232名が集結！ ～SDGs 達成を最先端の科学技術（Deep Tech）で加速させる提案をします～

2月5日から3日間にわたり完全オンラインで開催される「第2回ジャパン・ハッカソン」の応募受付が締め切れ、世界46カ国232名の申込みがありました。

事前審査により選ばれた15アイデア*¹について、参加者がチームを組んで事業案として磨き上げ、最終日にその成果を競います。

新たな時代を支える学生や若手起業家等が国を超えて集い、SDGs 達成を最先端の科学技術（Deep Tech）を用いて加速させるアイデアを創出する取組をぜひ広めていただきたく、当日の取材（※事前申込要（下記5参照））について、よろしく願いいたします。

- 1 日時** 令和3年2月5日（金）16時～2月7日（日）20時（予定）
- 2 場所** オンライン（Zoom等のWEB会議システムを使用）
- 3 応募者数** 46カ国*²232名*³
- 4 スケジュール（予定）** ※報道機関への公開は下線部のみとなります。

2月5日（金）

16:00-17:00

オープニングセレモニー

- ・主催者挨拶
- ・スポンサー、審査員紹介 など

17:00-18:00 アイデアピッチ

- ・15人がアイデアプレゼンを実施

18:00-21:00 チームメイキング

- ・応募者とアイデアをマッチングし
3～5人のチームを編成

21:00-

チーム内作業・メンタータイム*⁴

2月6日（土）

11:00-12:00 ワークショップ

「How to Present Online」

講師：Design Thinking
Japan 共同創業者
Brittany Arthur 氏

16:00-17:00 制度・事例紹介

「京都での起業とスタートアップビザについて」

講師：JETRO 京都スタートアップビザ
コンサルジェ
京田ジョセフ氏

2月7日（日）

16:00-18:00

クロージングセレモニー

- ・最終発表（15チームがSDGs 達成を加速させるアイデアを発表）・審査*⁵・結果発表・表彰*⁶・閉会

19:00-20:00 交流会

20:00-21:00

受賞者等へのインタビュー（報道機関向け）

5 取材方法について

- ・報道機関の皆様向けに、閲覧用のURLと取材手順をお知らせしますので、閲覧を希望するプログラムの前日17時までに、下記担当者あてE-mailにてお申し込みください。

【取材申込先】 ジャパン・ハッカソン実行委員会事務局 浦出
E-mail:y-urade69☆pref.kyoto.lg.jp ※☆を@に変えてください

- ・取材は、専用のURLを発行しオンラインにて行っていただく予定をしております。
- ・2月7日（日）については取材対応を含め通訳を設ける予定をしております。

6 主催 ジャパン・ハッカソン実行委員会

(京大起業部インターナショナル、京都府、一般社団法人京都知恵産業創造の森、公益財団法人京都産業21、関連企業などで構成)

*1 : アイデア (一部)

- ・学校に通えず、インターネット接続費が払えずに初等教育が受けられない過疎地域に住む学童に対して、ほぼ無料でeラーニングへの接続環境を提供するアイデア
- ・MRIデータとCTデータの相互変換機能により、被爆等による身体への負担なくかつ低コストで、医療現場が欲しい診断画像の撮影を可能にするアイデア
- ・難聴の方の聴力の状態に合わせ、電話、テレビ、音楽などの音声コンテンツから聞き取りやすい周波数の音が出るようコントロールするデバイス開発のアイデア

*2 : パキスタン、インドネシア、インド、イラク、イスラエル、日本、ナイジェリア、ペルー、アメリカ、フィリピン、アフガニスタン、カナダ、ロシア、香港、ベトナム、中国、クルド、イギリス、シンガポール、ブラジル、セルビア、アルジェリア、イラン、オーストラリア他

*3 : 学生、プログラマー、デザイナー、プロジェクトマネージャー、起業家など

*4 : アマゾン、マイクロソフト、マネーフォワード、メルカリの技術者、アデコグループのSDGs責任者、起業家、大学教授等の多彩なスペシャリストらが、各チームにアドバイスをを行う。

*5 : アルマ・クリエイション CEO 神田昌典氏、Smart Vision Logistics PRESIDENT Glen Wood 氏、Social Innovation Japan ディレクター兼共同創業者 Keiko Ono 氏、京都大学准教授 Spring Han 氏、MEI Ltd 創業者 湯山茂徳氏、JETRO 京都 所長 牧野直史氏が、審査を行う。

*6 : 大賞 (アルマ・クリエイション賞) 賞金50万円)、マネーフォワード賞 (賞金10万円)、Startup Capital Kyoto 賞 (JETRO 京都による特別支援) の各賞の表彰を行う。

<参考> 第1回ジャパン・ハッカソン(R2.6.26~6.28開催)の参加チームのその後の状況 (例)

- ・京都府で起業し、出産・育児をサポートする自分見守り (体調管理) AI を開発中
- ・神奈川県で起業し、遠隔教育支援ツールを開発中
- ・イラクで起業し、建設業界の人材マッチングプラットフォームとアプリを開発し、サービス「Bina」展開中

【ハッカソンの内容・取材に関するお問い合わせ先】

担当：赤城 (京大起業部インターナショナル代表)

E-mail: kana☆japanhackathon.com ※☆を@に変えてください

【上記以外のお問い合わせ先】

担当：須田 (京都府ものづくり振興課スタートアップ支援担当参事)

電話番号：075-414-5353

E-mail: monozukuri☆pref.kyoto.lg.jp ※☆を@に変えてください